DIALOG(R) File 351: Derwent WPI (c) 2002 Thomson Derwent. All rts. reserv. **Image available** 007535409 WPI Acc No: 1988-169341/198825 XRPX Acc No: N88-129490 Charging device suitable for image forming appts. of copier - has voltage source forming vibratory electric field between member to be charged and contacting member Patent Assignee: CANON KK (CANO) Inventor: ARAYA J; HIRABAYASHI H; KOITABASHI N; NAKAMURA S; HIRABAYSH H Number of Countries: 006 Number of Patents: 007 Patent Family: Applicat No Kind Date Week Patent No Kind Date 19871214 198825 B 19880622 EP 87310983 Α EP 272072 Α 19880622 JP 86298419 Α 19861215 198831 JP 63149668 Α 19880622 JP 86298420 Α 19861215 198831 JP 63149669 Α 19890725 US 87131585 Α 19871211 198937 US 4851960 Α 19871214 199421 19940525 EP 87310983 A EP 272072 В1 DE 3789893 19940630 DE 3789893 Α 19871214 199427 G EP 87310983 Α 19871214 19970812 US 87131585 Α 19871211 199738 US 35581 Ε 19910725 US 91735797 Α 19930322 US 9338195 Α 19951127 US 95562788 Α Priority Applications (No Type Date): JP 86298420 A 19861215; JP 86298419 A 19861215 Cited Patents: 1.Jnl.Ref; A3...8911; EP 280542; EP 35745; GB 2129372; JP 56104347; No-SR.Pub; US 4455078 Patent Details: Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes A E 14 B EP 272072 Designated States (Regional): DE FR GB IT US 4851960 13 B Α EP 272072 B1 E 18 B Designated States (Regional): DE FR GB IT Based on patent EP 272072 DE 3789893 G В Cont of application US 91735797 US 35581 Е 14 B Cont of application US 9338195 Reissue of patent US 4851960 JP 63149668 Α В JP 63149669 В

Abstract (Basic): EP 272072 A

The device charging a movable drum (1) includes a contacting member (2) adapted to contact the member to be charged. A voltage source (3) forms a vibratory electric field and applies between the member to be charged and the contacting member a vibratory voltage having a peak-to-peak value not less than twice an absolute value of a charge starting voltage to the member to be charged.

The photosensitive layer (1b) of a photosensitive drum (1) includes a carrier generating layer of azo pigment and a carrier transfer layer having a thickness of 19 microns and contg. a mixt. of hydrazone and resin. The conductive roller (2) is supplied with a d.c. voltage to effect contact charging to the drum in the dark.

ADVANTAGE - Stable and uniform charging. Charging device supplied

with relatively low voltage compared with conventional corona discharger.

1/13

Abstract (Equivalent): EP 272072 B

A charging apparatus comprising: a moveable member (1) to be charged, a charging member (2) in contact with the moveable member (1) over a first region extending transverse to the direction of movement of the moveable member, and a voltage source (3) arranged to supply a vibratory voltage to the charging member, the charging member and the moveable member being shaped to provide a gap which increases in width in the direction of movement, and characterised in that the voltage source is arranged to supply to the charging member a vibratory voltage having a peak-to-peak magnitude not less than twice a threshold voltage (VTH) which corresponds to the minimum DC voltage which would cause the moveable member (1) to b charged if applied to said charging member (2).

Dwg.1/13

Abstract (Equivalent): US 4851960 A

A charging device for charging a movable member to be charged includes a contacting member adapted to contacting the member to be charged, and forms a vibratory electric field between the member to be charged and the contacting member. The vibratory electric field forming appts. applies between the members, a vibratory voltage having a peak-to-peak value not less than twice an absolute value of a charge starting voltage to the member to be charged. ADVANTAGE - The member to be charged can be uniformly charged.

(13pp)

Title Terms: CHARGE; DEVICE; SUIT; IMAGE; FORMING; APPARATUS; COPY; VOLTAGE; SOURCE; FORMING; VIBRATION; ELECTRIC; FIELD; MEMBER; CHARGE; CONTACT; MEMBER

Derwent Class: P84; S06

International Patent Class (Main): G03G-015/02

International Patent Class (Additional): H01T-019/00

File Segment: EPI; EngPI

Manual Codes (EPI/S-X): S06-A02

⑩日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

四公開特許公報(A)

昭63-149669

@Int Cl.4

投別記号 102

广内整理番号

母公開 昭和63年(1988)6月22日

G 03 G 15/02 H 01 T 19/00

6952-2H 7337-5G

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

9発明の名称 接触带電方法

②特 联 昭61-298419

砂田 頤 昭61(1986)12月15日

砂発 明 者 中村 俊 治 包発 明 者 平 弘 光 林 位発 明 者 荒 矢 潤 治 砂発 明 者 小 板 播 規 文

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

切出 顋 人 キヤノン株式会社 0代理人 弁理士 福 田

1. 発明の名称

换触带電方法

2、特許請求の範囲

(1)外部より常圧を印加した非常性部分を被帯 現住に当抜させて帯電を行う装施存電方法におい て、将電開始電圧の2倍以上のピーク間電圧を有 する無流電圧を終記導電性無材に印加することに より前記被告電体と導電性部材との期に振動電影 を形成させて寿理を行わせる事を特徴とする技能 带笔方法。

- 3. 発明の詳細な説明
- イ、発明の目的

〔成業上の利用分野〕

水発明は接触帯電力法に関する。更に詳しく は、外部より電圧を印加した構造性器材を被骨室 体に当後させて青竜を行う手法の改者に関する。 (従来の技術)

便宜上電子事実装置における感光体の新電処 茂(映像処理も含む)を何にして説明する。

後子写真は周知のように感光体面を所定の電粒 に均一措能無理する行政も含んでいる。その帯電 処理手段としては現在実用化されている電子写真 装置の角と全てがワイヤ電板とシールド電板を主 構収部材とするコロナ放復器を利用している。し かし終コロナ放電器を用いた構電処理系において は以下のような問題点を有している。

1)高電圧印加

始光体上に 500~ 760 V の裏調電位を得るため に4~8m~ これ 高電圧をワイヤに印刷する 品 要性があり、電極及び本体へのリークを防止すべ くワイヤから電視の距離を大きく維持する等のた めに放電器目存が大型化し、又高絶縁被覆ケーブ ルの使用が不可欠である。

2) 仿電無溶が低い

ワイヤからの放復電流の大半はシールド電腦へ 说れ、被你说体たる感光体例へ说れるコロナ電機 は絶敗復覚症の数パーセントにすぎない。

3)コロナ族電生収物の発生

コロナ放電によってオゾン等の発生があり、設

設 政無品の酸化、感光体変質のオゾン劣化による衝散ボケ(特にこの現象は高温環境下において若しい)が生じ易く、またオゾンの人 への影響を考慮してオゾン吸収・分解フィルタ及びフィルタへの気波発生手段であるファンが必要である。
4) ワイヤ汚れ

数電効率をあげるために虚率の大きい数電ワイヤ (一般的には 80 m ~ 100 m の直径のものが用いられる)が使用されるが、ワイヤ変限に形成される高電界によって変更内の最小な痕迹を策磨してワイヤ変面が行れる。ワイヤ汚れは放電に ムラを生じ 易く、それが過激ムラとなってあらわれる。役ってかなり 頻繁にワイヤや放電器内を清掃処置する必要がある。

そこで最近では上記のような問題点の多いコロナ技電器を利用しないで、被熱帯電手機を利用することが検討されている。

具体的には被係電体たる拡光体変量に 1 EV程度 の直流電圧を外落より印加した高電性線 値 モブラ シカるいは再電性弾性ローラ等の基電性部材(非

ることを目的とする。

ロ、見明の構成

(問題点を解決するための手段)

本発明は、外部より電圧を印加した非電性信材を被得電体に 当接させて帯電を行う接触帯電方法において、 帯電関始電圧の 2 倍以上のピーク関電圧を有する 酸液電圧を前記 準電性部材 との間に 根 数 電界を形成させて 帯電を行わせる 事を特徴とする 接触 帯電方法を 要 管とする。

(作用)

上記のような条件で被帯電体を接触管理処理すると、実際上被帯電体面は遊点状等の帯電ムラを 生じることなくる認均一の財産電位で常に会定に 一級帯電処理されることが後述実施例に示すよう に確認された。

(実施例)

第1 図に対で、1 は被帯電体としての電子写真 感光ドラムの一部であり、ドラム基体 1 ェの外間 道に延光体所 1 b (有機半導体・アモルファスシ 定性関位維持部計)を接触させることにより感光 体表頭に電荷を直接性入して感光体表面を所定の 定位に帯電させるものである。

(発明が解決しようとする問題点)

水発明はこの複雑帯電手数について複帯電面各 部が均一帯電されるように改善し、前途したよう に問題の多いコロナ故電器を利用する代りに例え は電子写真装置における感光体の均一帯電気度手 設として問題なく利用することができるようにす

リコン・セレン等の光端電性半端体材料層)を形成してなるもので、矢景 a 方向に併定の速度で匝 移動駆動される。

2 は上記の絶光ドラム1個に研究圧力をもって 板触させた課程性解析としての課覚性ローラであ り、過光ドラム1の個板に伴ない矢示方向に従動 関板する。3 はこの課覚性ローラに電圧を印加す る電報である。

非常性ローラ2は具体的には何えば第2回回ののように全国志様2mにEPDH・HBR 等の弾性ゴム階をトを設け、更にその問題にカーボンを分散したクレタンゴム房2c(抵抗~10°Q)を設けた2股後獲構成のもの、第2回回のように全国芯棒2mにカーボンを分数した発泡ウレタンゴム房2dを被関したもの等を用いることができる。

導電性部材では非回転のローラやパッド部材で あってもよい。

A. 一般带電手法の場合(直接電圧印加)

上記において過光ドラムlの感光体習lbは、アゾ似料を CGL器(キャリア発生層)とし、モ

の上にヒドラゾンと側面を裂合したものを CTL 耐(キャリア輸送費)として18mの厚さに独層した た良極性有種半導体層(OPC層)とし、この OPC迭 光ドラム1を回転駆動させ、その裏面に導電性 ローラ2を複雑させ、破弱電性ローラ2に直旋電 EVpcを印刷して時所で OPC感光ドラム1の接 独帯電を行わせるものとし、導電性ローラ2通過 後の帯電された OPC感光ドラム1の裏面電位 と、電電性ローラ2に対する印加直流電圧Vpc との関係を測定した。

第7日のグラフはその制定結果を示すものである。印加泉能電圧 Vocに対して帯電は関係を有し、約-500 Vから帯電が開始し、その帯電開始電圧以上の電圧印加に対しては、得られる変型電位 Vはグラフ上側き Lの遺鉱的な関係が得られた。この特性は環境特性的にも(例えば高額高速・促
温低程環境)はぼ隣等の結果が得られた。

すなわち、導電性ローラ2への収扱印制電圧を Vaとし、 OPC格光ドラム変数に得られる普種電 位をVc、 存電開始電圧をVTHとすると、

値、上に凸の低線の・ゆ・のが失々(Va-Vc)をパラメータとした空隙電圧Vgの特性を示す。

パッションの曲線中と、曲線中へのが交点を有するとき放電が生するものであり、放電が開始する点においては、Ve=VbとおいたZの二次式で料別式がOになる。すなわち、

(3)式の右辺に先の実験で用いた OPC感光体形 L bの比別を得る、 Cfl以み18点を代入すると、

Vc-Ve-573

が得られ、先に努られた実験式とほぼ一気する。
パッシェンの法別は空間での放電現象に関する
ものであるが、上記事電性ローラ2を用いた措定
通程においても普恵館のすぐ近例で最少ながらオ
ゾンの発生(コロナ放電に比較して18-2~10-3)
が認められ、特定がなんらかの形で放電現象に関係しているものと考えられる。

V c = V a - V T H

の関係がある。

上記の文はパッシェン(Pasches) の法則を用いて得出できる。

訴者関の投型関に示すように基定性ローラ 2 と OPC性光体形 1 b との間の散視的空隙 2 にかかる電圧 V a は以下の (i) 丈で表わされる。

$$V = \frac{(V + V + C) Z}{L + K + Z} \dots (1)$$

Va:印加電圧

V c: 选先体射衰弱電位

Z : 空隙

1.3:越光体层厚的

K a: 施光体粉比納電率

一力、空隙とに対ける放電現象はパッシェンの 法限により、2 = 8 = 以上では放電破壊電圧 V b は次の 1 次次 (2)で近似できる。

Y b = 312+ 8.2 Z(2)

が10回のグラフは感光ドラム1の感光体度1 bを上記例の OPC層に代えてアモルファスシリコン(a-Si)層とした場合の導電性ローラ2通過後の 作電された級 a-Si感光ドラム1の表面電位と、導 電性ローラ2に対する印象面変電圧との関係を測 定したものである。

情被表の因子を最小にするため桁電行程前の選 光気で実験を行った。VTH与 440Vから存電が 開始し、その後は前途第7回の . OPC感光ドラムの 場合のグラフと囲様な収載的関係が得られた。

府記 (3)式で得られた K s · L s に、用いた c a-Si 統光ドラムの K s = 12、 L s = 20 ± を代入すると V T N • 432 V が得られ、皮験結果とほぼ一致 + ス

お司性ローラ2に直流電圧を印加した場合、以上のような特性をもって感光体変謝に帯電電化が得られるが、その砂電イパターンを公知の現象力法を用いて顕像化すると近点状のムラすなわち帯 電ムラが生じていることは開送した通りである。 B、本発明の接触帯電子法の場合(最後電圧印加)

上記A項で用いた OPC億光ドラム及びa-SI感光 V p-p のピーク間電圧を有する交流V A c も重量 した根據後圧(Vnc+Vac)を印加してa-Si 感光ドラムを接触符電処理したときのピータ顕常 圧に対する感光体帯電電位の関係を失々製定し た。第3個及び第4個はその夫々の選定結果グラ フである。 V P-P の小さい領域では、音電電位は Vy-p に比例して直線的に増加し、ある値を越え ると販売電圧成分中の直流分VDC値にほぼ危害 し、Vp-p 変化に対して一定値をとる。

应光体带性型位の V p-p/2 値変化に対する上記 の変曲点は、 GPC地光ドラムの場合はある図のグ ラフのように約1100V、a-Si磁光ドラムの場合は 第4回のグラフのように約 \$80℃であり、これ等 は丁度的造ん項で求めた直旋印刷時のVェロ旗の ほぼ2倍の値になる。

この関係は印無電圧の開後表及び直洗成分Vb c 値を変化させても帯電電位の煎和点が V o c 値 の変化によってシフトするだけで、Vp-p の変化

たが、理論的には以下のように考えられる。

ナなわち、Vp-p 変化に対する音覚覚位の間 伍における空内点は感光体と溶電性電位維持症 材(薄電性ローラ)間の緩動電界下において感光 体から導電性電位維持部材への環荷達転移開始点 と考えられる。

第 5 因让再電性度位維持部材への印加電圧を示 すものである。 説明上 V ο c 直流成分に V ρ-ρ の 正住波が重長された顕微電圧波がとすると、最改 電圧印刷において V saz · V sin は

$$V = x = V + c + \frac{1}{2} V = p$$
,

$$V$$
 wis = V o c $-\frac{1}{2}$ V p-p と汲わされる。

V mas の電圧が印刷された時、感光体は前途 の (3)式によって

$$V = V \circ c + \frac{1}{2} V_{P-P} - V \tau H$$
の表的複位に存在される。

この後、上記表面電位に対して導電性電位維持 保材への印加電圧値が顕微電圧値中最小値寸を カち V min になった時、その法が倍電関約電圧

に対する変数点の位置は一定であり、かつ過程性 ドラムについて、海洋性ローラミに直洗Vncに ローラ2の恵光体』に対するスピード(例えば外 止・回転・連転)には使存しない。

> このように緊没地圧を印加して得られた感光体 の奇電楽師を現像すると、Vョ-pの値が小さい鈴 即ち¥p-p/2 と帯電電位との間に横き1の直線的 な関係にある領域においては、滅盗の導電性ロー ラ2に直流のみを印刷した時と同様に直点状のム ヲセ生じているが、資産点以上のピーグ間電圧を 印加した領域では特電機位が一定であるととも に、羽られた頭頭糞は均一であり、帯電が均一。 一様に行われていた。

すなわち、役ぼの一様性を得るためには感光体 の話特性等によって決定される政策印制時の帝軍 開始電圧▼エ8の2倍以上のピーク間電圧を有す る振力地圧を印刷する必要があり、その時行られ る帯電電位は印加電圧の直流成分に使存する。

指電の一様性と展逸電圧のピーク間電圧Vp-p と特征関約電圧VTmとの関係、即ちVッ-> ≥ 2 V T H に関して前途のように実験的には認証され

YTRを越えると過剰な感光体上の電荷は非電性 唯位維持維持個へ进転移する。

湯電性電位維持部材と癌光体との間の電荷の気 夢・逆転移が判告ともV T H の関値を有して行わ れるという事は、電荷の転移が興楽師の空難簡単 圧によって決定されることから方向的に等質と考 えられることになる。

したがって、世界の道板移が生じるためには、 $(V_{DC} + \frac{1}{2}V_{P-P} - V_{TH}) - (V_{OC} - \frac{1}{2}V_{P-P}) \ge V_{TH}$

V p · p ≥ 2 V T H

となり、前边の実験式と一致する結果が得られ

つまり、たとえ終光体へ局部的に過剰な電荷が のって高電位になっても上途の電荷の逆転路によ リー様化される。

ハ、免別の効果

以上説明したように、被俗複体に複触した確定 性部材に存電開始地圧VTHの2倍以上のピーク 間電位を有する顧旋健圧を閉加し、被荷電体と進

特別昭63-149669 (5)

電性部材との間に製力電界を形成する事により、 帯電均一性を る接触 電が可能である。

さらには、前述のでとく被帯電体と導電性無材間で電荷の転移・逆転移が生じていると考えられ、帝軍前の被帯電体の電位に仮存せず所第の電位を高結度で得ることができる(第8図のグラフ
歩照)。すなわちコロナ被電器で用いるグリッドに似た効果もあり、電子写真で置う砂電機像変数にともなう確像変数といった現象のない変定した併電プロセスが可能となる。

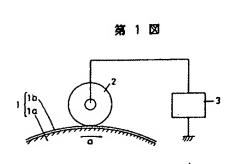
4. 図面の簡単な設明

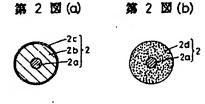
第1回は被称電体としての感光ドラムの一部とその頭に接触させた接触帯電用の電圧印加調電性ローラを示す図、第2回回・GIは夫々調電性ローラの構成例の横断面図、第3回・第4回は失いでのでので、第1回はボックと e-Si感光ドラムについてので、第5回は導電性ローラへの印加電圧被形ので、第5回は導電性ローラへの印加電圧被形のの帯電荷電位と帯電機性の関係グラフ、第7の帯電荷電位と帯電機を進位の関係グラフ、第7

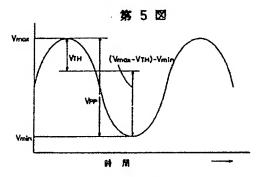
図・ 的 1 0 図は夫々 OPC感光ドラムと e- Si 連光ドラムについての表放印加電圧 V o c と遮光体符電電位 V との関係グラフ、 第8 図は懸光体滑ー 導電性ローラ関の空隙ギャップ模型図。 許9 図はパッシェンの画盤と空隙電圧の関係グラフである。

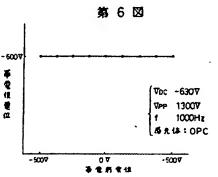
1 は被帯電体としての感光ドラム、2 は濃電性 個材、3 は電圧印加額。

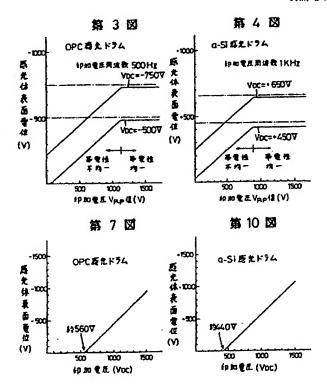
特許出版人 キャノンを式合社 代理 人 福 田 助 (共社) 地震











(自発) 手統補正額

第 8 図

昭和62年12月 3日

特許庁長官 小 川 邦 夫 隆

1. 本件の表示

許 颠落298419号 昭和81年 特

2. 発明の名称

接触带電方法

3. 福正をする者

事件との関係

8

(100) キャノン株式会社

4. 代 理 人

東京都渋谷区代々木二丁目11番12号

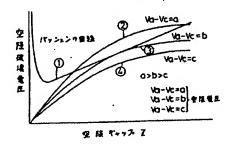
末村ビルデ (水流 弁理士 福 田 勧 (本語) 推路 170-8428 (代)

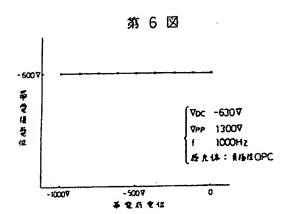
5. 補正の対象

6. 禍正の内容

(1) 図前「排6図」を別載の通り補正する。

第 9 図





		· »,
		÷